

ボラまち

07
JUL 2021



中央区ボランティア・
市民活動センターだより

HOKUETSU Field Study - ボランティアはじめました -

北越高等学校の3年生 51名は、10グループに分かれてボランティア活動をしています。その内、7名で活動している「PEACEFUL」というグループは、学校周辺の清掃活動に取り組んでいます。活動日は第1・3火曜日。学校からけやき通りまで、行きと帰りでルートを変えてゴミ拾いをしています。

「PEACEFUL」のメンバーは、この清掃活動をきっかけに身近な環境問題について考えるようになりました。今後もゴミ拾いやペットボトルキャップの収集等、環境のための取組を続けていきます。

また、「IWABUCHI♡」というグループは保育園の子どもたちとの関わりを、「プリチーズ」というグループは外国人との交流を計画中です。コロナ禍でもできるボランティア活動を通してステップアップしていく高校生たちの姿を、温かく見守っていききたいですね。



参加者募集！

夏休みジュニアサイエンス

— 身近なものの科学実験 —

夏休みの宿題のテーマに、ぜひご参加ください！

日時：8月9日（月・振休）

①10:00～11:00 ②13:00～14:00

③15:00～16:00

会場：はあとふる薬局古町ルフル店

（中央区古町7番町1010 古町ルフル2階）

対象：市内在住の小学生・中学生

（小学生は、保護者と一緒にご参加ください。）

定員：各回子ども8名まで

申込：右記の申込フォームよりお申込み下さい。抽選の上、ご参加いただける方のみ、7月20日（火）までにメールにてご連絡いたします。

※申込締切：7月15日（木）



ボランティア募集！

STTふれ愛クラブ

障がい者と一緒に卓球（サウンドテーブルテニス）をしている団体です。スポーツを楽しみながら障がいへの理解を深めます。

活動内容：試合をするための審判、球拾い、アシスタント

活動日：毎月第1・3火曜日 13:30～15:00

※活動日は変更になる場合があります。

見学をご希望の場合は事前にお問合せ下さい。

活動場所：ふれ愛プラザ（江南区亀田向陽1-9-1）

申込・問合せ：025-283-6739（担当：越澤様）



身歩's アカデミー 秘密の隠れテク

性別も年齢も関係ない！誰でも印象がアップする身だしなみのポイントをご紹介します。

【協力】出張メイク身歩さん



Vol2. 1分のお手軽ストレッチで明るい目元を叶える！—目もとと疲れは老け顔を促進!?—

テレワークやお家時間で、パソコンや携帯を見る時間も増えていますね。実は、目を酷使することは、目元の乾燥やたるみにつながります。疲れを感じた時には目のストレッチがおすすめ。

① 目に力を入れてギュッとつぶります。そのまま10秒間キープ。

② 目をパッと大きく見開いて、眉を上げるように意識！そのまま10秒間キープしてゆっくり戻しましょう。

こまめに行うことでドライアイ予防になり、くまもリセットされ薄くなります。

また、年齢を重ねると目立ちやすくなるくまや小ジワには、目周りの筋肉を鍛えることも効果的です。▶ 画像を参考にストレッチしてみましょう。

見た目の印象年齢を大きく左右する目元だからこそ、化粧水やアイクリームではできないケアも大切です。



新潟大学には、専門分野の学問を学ぶ学部・学科を第1のホーム、それを越えてつくる第2のホームで「新たなふるさと創り」としての地域活動に取り組み、人間としての成長を目指す「ダブルホーム」という仕組みがあります。このダブルホーム活動に取り組む学生さんたち取材しました。

▶ お話を聞かせてもらった学生さん

創生学部創生学修課程3年 工藤絵瑠さん

所属：Aホーム「Blange」 西区内野・大学南

経済学部経営学科3年 後藤優衣さん

所属：Lホーム「輪～つながる～」 西区坂井輪中学校区

交流のカタチ

— それぞれのホームでは、学生さんが一年を通して地域の様々な行事に携わり交流しています。

工藤さん：内野まつりでは地域の方と一緒に神輿を担ぎ、もちつき大会では南が丘自治会館で餅つきをして、地域の方とお話ししながら食事しました。街歩きでは内野の街歩きガイドの方に案内してもらい、講習を受けて私達もガイド資格を取得しました。

後藤さん：Lホームでは、街歩きや坂井輪祭りに加えて、子ども食堂と郷土料理教室を開催しています。地域の方と一緒に郷土料理冊子を作ったこともありますよ。小中学生から高齢者まで幅広い年代の方と交流できて、活動はとても楽しいです。



▶ Lホームで開催した郷土料理教室の様子

— 交流を続ける中で生まれた“ホームをよりよくしたい”、“地域をもっと活性化したい”という気持ち。学生たちが力を入れている取り組みがあります。

工藤さん：大学構内に実った梅の実の活用方法を考え、梅酒や梅シロップに加工しています。地域の方には収穫から加工まで助言していただいたり、実際に手を貸していただいたりしました。

後藤さん：Lホームではコロナの影響で地域の方との関わりが制限されていることを受けて、“非接触型”の交流に挑戦しました。インスタグラムで子どもの遊びを紹介したり、学生の地元の郷土料理と地域の方から人気のノ

料理を集めてレシピ本を作成しました。



▶ Aホームの「梅プロジェクト」の様子

地域をよくするモチベーション

— 交流を通して地域への愛着が生まれ、課題解決につながる。地域を育むサイクルは、お互いを思う気持ちによって支えられています。

工藤さん：メンバーからは地域の方がとにかくあたたかい！という声が多くあります。学生が地域に入ることに對して全く壁を作らず、積極的に「一緒にやろう！」という雰囲気を作ってくださいます。

後藤さん：私たちが地域のイベントに参加することで、地域の皆さんが「若い子が入ると活気が出る！」と喜んでくださっているのを見ると、とてもうれしいです。

工藤さん：地域の方や仲間と一緒に様々なことを考える機会が、学生の第2の居場所になっています。これがダブルホーム活動が続ける理由であり、やりがいでもあります。

— 全国から集まった学生さんと、そこで暮らしを営む地域の方々。ダブルホームでの交流の様子は、これからの地域社会のあり方のヒントになるかもしれません。

＼ 中央区にホームできます！ ／



Nホーム ねすと

NSTと連携して万代を盛り上げます！
都市部ならではの取組みに乞うご期待です

中央区ボランティア・市民活動センター

〒951-8062

新潟市西堀前通6番町909 CO-C.G.ビル3階

TEL：025-210-8730 FAX：025-210-8722

Mail：va-chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp

※お車で越しの際は、市営西堀地下駐車場をご利用ください。駐車券をお渡しします。

開所時間 月曜日～金曜日 8：30～17：15（土・日・祝、年末年始を除く）

Instagramはじめました。

#古町 #観光 #グルメ

Follow me！／



編集後記

両手の人差し指を向かい合わせて立て、第一関節を折り曲げます。他の指は握ります。これが「挨拶」という手話になります。日本人は挨拶する時、会釈しますよね。その様子が語源のようです。手話言語はその国によって異なります。言葉って文化・習慣に影響を受けるものですね。 によだ